

中間とりまとめ(素案)概要

今後のインフラのマネジメントのあり方について 中間とりまとめの概要

主旨

これまでのインフラメンテナンスの取組や実態調査を踏まえた地方公共団体における現状と課題を踏まえ、**インフラメンテナンスからインフラマネジメントへの転換に関する基本的な考え方**及び**重点的に講ずべき施策**に関して、技術部会インフラマネジメント戦略小委員会（令和7年12月設置）において審議し、取りまとめたもの。

第1章 現状と課題

- インフラを取り巻く社会経済情勢
- これまでの取組と地方公共団体における現状・課題
 - 施設の重要度や役割等を踏まえて優先度を設定した取組が十分にできていない
 - 管理者への見える化のための新技術導入が十分に進んでいない
 - 首長及び地方議会等の更なる理解醸成、地域住民との協働の推進が課題
 - 市民へインフラの状況を公表する取組が半数にとどまる
 - 地域の維持管理を行う担い手の減少
 - 群マネの導入等が十分に進んでいない

第2章 インフラマネジメントへの転換に関する基本的な考え方

社会インフラの信頼性に対する国民の懸念を払拭し、老朽化対策に万全を期す必要。
インフラメンテナンスからインフラマネジメントへの転換に向けた5つの具体的な考え方を整理

- 「メリハリ」の推進
- 「見える化」の徹底
- インフラの「自分事化」と「モーメンタム」の醸成
- 担い手に「もっと光を」当てたインフラマネジメント産業の構築
- 統合的「マネジメント」の構築

第3章 インフラマネジメントへの転換に向けて重点的に講ずべき施策

現在直面している課題を克服し、維持管理・更新のあるべき姿を国土交通省等が重点的に講ずべき諸方策を提言

1. 「メリハリ」を推進するための取組
- 点検箇所や方法等のメリハリを付けた重点化
 - 構造物の性能評価の定量化の検討
 - メンテナンスの優先度設定の考え方を整理・周知
 - 劣化メカニズム等の研究推進

3. インフラの「自分事化」と「モーメンタム」を醸成するための取組
- インフラの劣化状況等のマッピングによる見える化
 - インフラメンテナンス市区町村長会議等を通じた首長や地方議会にインフラマネジメントの重要性に関する理解を促進
 - SNS等を活用した情報発信の強化

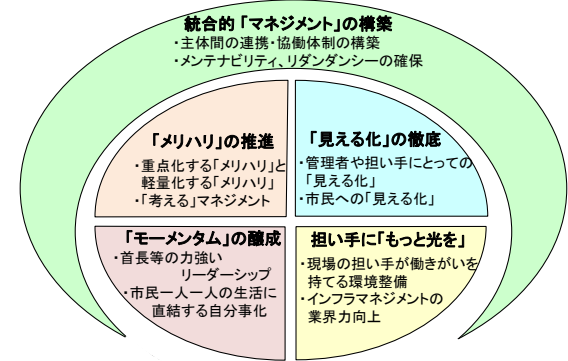
5. 統合的「マネジメント」を構築するための取組
- インフラの統合的マネジメントを推進するための制度の検討
 - 群マネの手引きの充実、包括的民間委託導入の手引きの周知
 - 産学官のアドバイザーによる職員の技術力向上を図る体制の構築
 - BIM/CIMを活用したデータ連携の推進

2. 「見える化」を徹底するための取組
- 新技術の性能カタログ等の策定・充実
 - 長寿命化に貢献する技術等を積極的に評価・活用
 - データの標準化やデジタル化の推進
 - インフラの劣化状況等のマッピングによる見える化

4. 担い手に「もっと光を」当てたインフラマネジメント産業を構築するための取組
- 更なる処遇改善や働き方改革、表彰制度の推進
 - 地域の維持管理を合理的・効率的に受発注できる仕組み等の検討
 - インフラマネジメント産業の健全な発展を図るための仕組みの検討
 - 新たなインフラ老朽化対策技術の開発・現場実装の推進

- 設計段階からのメンテナビリティ、リダンダンシーの確保の検討
- 過去のデータも踏まえ、改築、新設の仕様の検討
- 地方公共団体等への財政的支援の充実
- 補助金や交付金の制度の解説や先進事例等の整理

インフラマネジメント※



※インフラマネジメントとは、点検・対策等に「メリハリ」を付け、その基礎となるインフラ状況等の「見える化」をそれを通じた「モーメンタム」の醸成を図り、担い手に「もっと光を」当てる取組を進め、その上で、様々なインフラ分野や主体間の連携・協働（機能的）、地上や地下等に分散して存在する種々のインフラを一体的に捉えること（空間的）、計画・設計・整備・維持管理・更新等のライフサイクルを一連として考えること（時間的）を踏まえ、それらを統合的にマネジメントすることにより、全体として最適化すること。